

2010年度技術士第2次試験の出身大学(大学院含む)合格者ランキング

順位	大学名	人数
1	京大	189
2	北大	162
3	日大	155
4	九大	126
5	東大	120
6	早大	103
7	阪大	87
8	東北大	85
9	東工大	79
10	東京理科大	73
11	名大	72
12	山口大	61
13	熊本大	59
14	金沢大	58
15	神戸大	57
16	中央大	55
17	広島大	53
17	筑波大	53
19	名古屋工大	52
20	愛媛大	51
20	鳥取大	51
22	大阪工大	50

難関 技術士

難関の国家試験である2010年度技術士(用語参照)第2次試験の出身大学(大学院含む)合格者ランキングが10日までに日刊工業新聞社の取材で明らかになった。トップは京都大学の189人で、前年度1位の北海道大学は2位となり162人、6位の早稲田大学まで100人を上回った。同試験の受験者数は機械、電気電子、建設など計21部門あり、総受験者数は2万7862人、合格者数4117人、合格率14・8%で、1958年に試験を開始以来、過去2番目に低い合格率だった。

第2次国家試験合格率14・8%

過去2番目に低い水準

同ランキングが明らかになるのは初めて。同試験の実施機関である日本技術士会によると、10年度の50人以上の合格者出身大学ランキングで、トップ10位内は国立大7、私大3校。11位以下、22

出身大学別ランキング

トップに京大 北大2位転落

京大は4年ぶりにトップに返り咲き、09年まで3年連続首位だった北大は2位に後退した。同試験は筆記試験と口頭試験からなり、両試験の合格者が技術士資格を得る。受験するには技術士補の資格試験となる第1次試験を通り、かつ4年以上の実務経験が必要。また日本技術者教育認定機関(JABEE)の認定コース修了者は1

【用語】技術士は国の資格で、科学技術のコンサルタント。文部科学省の指定機関である日本技術士会に原則登録、登録人数は約7万人。このうち建設関連の登録数が多く、国土交通省が指定した建設コンサルタントは技術士資格を必要とする。

位まで国立大10校で、私大は中央大学(16位、55位、50人)の2校だけ。

次試験を免除される。文部科学省によると、10年度と同試験の主な部門別合格者は次の通り。

- ▽総合技術監理 540人(合格率15・1%)
- ▽機械 229人(同23・5%)
- ▽電気電子 213人(同14・5%)
- ▽情報工学 63人(同10・2%)
- ▽建設 1927人(12・6%)
- ▽上下水道 330人(同19・3%)
- ▽農業 189人(同21・5%)
- ▽応用理学 150人(同19・3%)
- ▽原子力・放射線 38人(同23・2%)
- ▽環境 121人(同16・2%)